

ドキュメンタリー映画で学ぶ
社会課題と惑星思考 vol.16

『むかし Matto の町があった : Disc 2』

(監督:マルコ・トゥルコ、2010年)



山森裕毅

CO デザインセンター 特任講師

program

18:30 - イントロ
18:35 - 上映 (96分)
20:15 - 対話

2019 12/18 WED 18:30~20:45

豊中キャンパス全学教育総合棟 13 階 341 号室 (CO デザインスタジオ)

申し込み不要、入退場自由、飲食可 / 問い合わせ: yamamori@cscd.osaka-u.ac.jp

【カフェマスターからのメッセージ】

私たちが被る苦しみや生きづらさのなかには、自分のせいでも誰かのせいでもなく、社会の構造や変化、歴史的経緯に由来するものもあります。たとえば貧困や難民問題、さまざまな種類の差別の問題などです。そうした社会から被ることになる苦しみは Social suffering と呼ばれます。この企画ではドキュメンタリーを通して、ソーシャル・サファリングの観点を学びたいと思います。苦しみの責任を自分や誰かに背負わせてしまう癖のついてしまった頭をほぐし、自分たちと社会のつながりを見つめ直す機会になれば幸いです。

【今回の内容について】

精神疾患は日本人の五大疾患のひとつです。一方、日本では疾患に対する認知度はまだまだ低く、偏見もあり、社会のなかで生きていくのもなかなか難しいという現状があります。前回は、精神科医であるフランコ・バザーリアによる精神病院内の改革とそれに対する社会の側の恐れと反発、そして改革の挫折を観ました。今回はその後のバザーリアの活動、つまり病院単体ではなく病院という仕組みそのものを成立させている法や制度を改革していき、イタリア全土から単科の精神病院を全廃させるまでに至った活動を観ていきます。鑑賞後に皆さんと感想をシェアできればと思います。

DESIGN
CAFÉ